

順天堂医院ニュース 2011 NO.37

診療科トピックス

肺高血圧症外来

膠原病・リウマチ内科 松下 雅和

膠原病は免疫や抵抗力の異常を主な原因とする疾患で、全身の様々な部位に炎症を引き起こす可能性があります。膠原病の内臓合併症の一つとして肺高血圧症が知られています。肺高血圧症とは一般的な高血圧症と違い、心臓から肺へ向かう肺動脈のみが高血圧となる状態で、進行すると息切れや動悸、失神発作などを起こすことがあります。原因はまだまだ不明ですが、何らかの炎症や血栓が肺動脈に起こり、血圧が上昇することにより肺や心臓に負担がかかってしまう病態です。

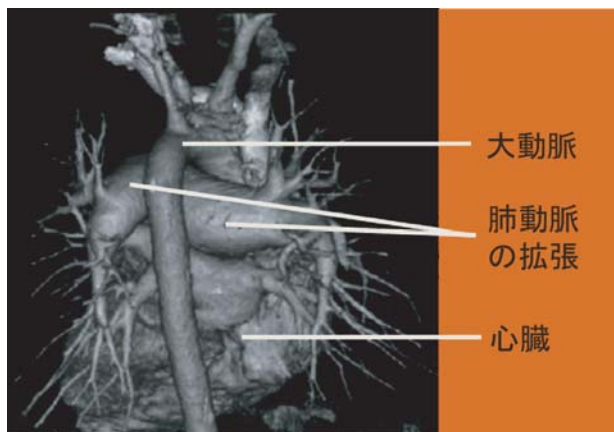


教授
高崎 芳成



助教
松下 雅和

肺高血圧症は極めてまれな疾患で、もともとご病気がない方にも起こる可能性があります。混合性結合組織病や強皮症と呼ばれる膠原病に合併率が高いことが知られています。近年、有効な治療法が確立され、疾患自体が注目されています。当科では肺高血圧症専門外来を設け、適切な検査および最新の治療を行っております。



肺高血圧症の CT 所見

動脈瘤はある程度大きくなると破裂のリスクが高くなります。自然に縮小することはない、薬などで治すこともできません。治療法には以前から行われている胸やお腹を切って人工血管に換える人工血管置換術とステントグラフト内挿術があります。ステントグラフトは人工血管にステントという金属のバネを取り付けた物で、それを小さく圧縮して細いカテーテルの中に収納して使用します。

足の付け根の動脈から動脈瘤のある場所まで運び、収納してあったステントグラフトを放出すると、バネの力と患者さん自身の血流で、縫わなくても自然に固定されます。この方法により以前は大きな手術が不可能だった患者さんでも体への負担を最小限にして治療することが可能となりました。

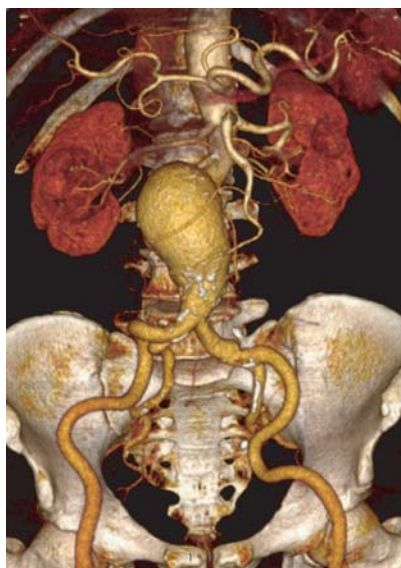
当科でも 2009 年より積極的に導入し、良好な治療成績を残しております。



教授
天野 篤



助教
土肥 静之



術前



術後

認知症の鑑別に役立つ脳核医学検査 (SPECT・統計解析画像)

放射線科 中西 淳

脳核医学検査は、脳の形態の異常だけではなく、機能の異常を調べるために行われます。脳の病気では形態の異常が現れる前に、機能の異常が現れることがあります。この検査は病気の早期診断や回復の可能性のある障害の軽い場所を見つけるために有用です。その中で最も多い

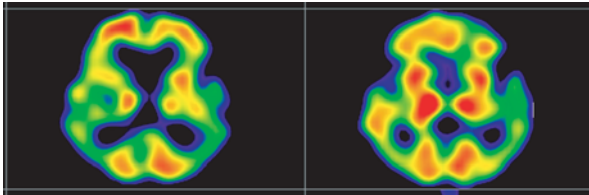


教授
青木 茂樹

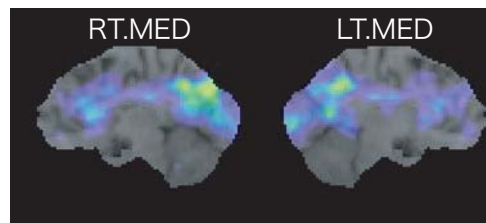
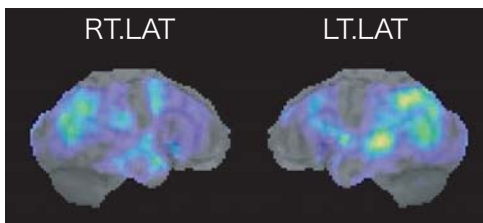


准教授
中西 淳

のが脳血流スペクト (SPECT : single photon emission computed tomography) で、断層像 (図A) で血流分布を表示します。さらに統計解析画像 (図B) はこの SPECT データを健常人と有意差をもって血流が少ない部分を抽出します。脳表面の血流表示もでき、そのパターンから認知症の原因を判別することも可能です。当院では2005年より臨床で利用しています。認知症の他に脳梗塞、てんかん、脳腫瘍、外傷など様々な病気の血流異常もわかります。気になる方は専門となる科を受診してください。



図A:SPECT横断像



図B:統計解析画像

尋常性乾癬の新治療 (抗 TNF- α 製剤)

皮膚科 丹羽 祐介

尋常性乾癬とは？

尋常性は“最も普通の”という意味で、乾癬の90%がこのタイプです。写真のように、1つ1つの皮疹が大きくなって局面(プラーク)を形成します。

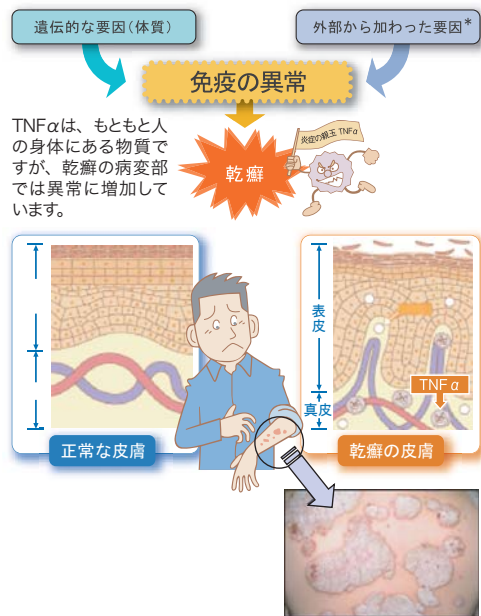


教授
池田 志孝

治療の種類

乾癬の治療には大きく分けて、外用療法、内服療法、光線療法、抗TNF α 療法の4つの方法があります。

抗TNF α 治療薬は2010年7月から使用できるようになった新しい治療薬で、炎症を引き起こす物質の1つであるTNF α (ティー・エヌ・エフ・アルファ)を抑える作用があります。乾癬の病変部ではTNF α が大量に作り出されており皮膚や関節に症状をもたらします。



抗TNF α 治療薬の効果

乾癬の症状に対して使用した場合の一例



写真のように従来の治療で効果が得られない場合でも強い効果を発揮します。

臨床検査部ニュース

採血室について

病気の診断や病状の把握には血液検査が必要です。採血室では、この血液検査に必要な血液を採取します。ここでは国家資格を有する臨床検査技師と看護師が、標準採血法ガイドラインを遵守して採血を行っています。

使用する採血針や手袋は、患者さん毎に取替え、常に新しい器具を使用しています。採血管は検査の種類に合わせて選択しますが、多くの場合は採血量が15ml（大さじ一杯）以内です。臨床検査技師が採血から検査までを適切に行うことで迅速で正確な検査成績を提供しています。

採血により得られる検査結果について、検査の説明や基準範囲を添付した資料を配布しておりますのでご利用ください。



もまないで
おさえてね!



栄養部ニュース

糖尿病には焼酎が良い？

「糖尿病には日本酒より焼酎の方が良い」という話をよく耳にします。その理由として日本酒などの醸造酒には糖質が含まれているのに対し、焼酎などの蒸留酒には糖質が含まれていないので血糖を上げないだろうと考えられているからです。



しかし焼酎だったらいくら飲んでも良いという考えは間違っています。焼酎は糖質を含まないものの、アルコールなのでカロリーはあります。したがって、たくさん飲めばその分のカロリーを取ることもなりますし、アルコールは脂肪肝やアルコール性肝障害などの肝機能障害を招きやすいので飲み過ぎは禁物です。飲酒については主治医と相談しその指示を守りましょう。

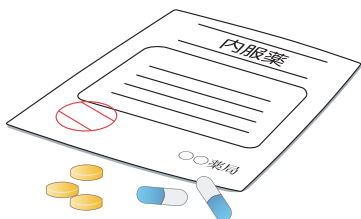


管理栄養士 飯島香織

薬剤部ニュース

ニュースや新聞で話題の糖尿病治療薬「DPP4-阻害剤」とは？

糖尿病薬は数多くの種類があり、薬によって血糖値を下げるメカニズムも異なります。よく使用されている「SU 剤」は、膵臓を直接刺激してインスリンを分泌させ血糖値を下げます。治療効果は高いですが、時に膵臓を刺激し過ぎて低血糖症状を起こしたり、体重の増加が問題となっています。その他にブドウ糖の吸収を遅らせて食後の血糖上昇を抑制する α -グルコシダーゼ阻害剤、インスリンを素早く分泌させる速効型インスリン分泌促進剤、



肝臓からブドウ糖放出を抑制するビッグアナイド剤、インスリンを働きやすくするインスリン抵抗性改善剤などがあります。最近話題の新薬の「DPP4-阻害剤」は膵臓からインスリンを分泌させるホルモン（インクレチン）の作用を持続させます。従来の薬よりも低血糖症状を起こしにくいメリットがあります。また、食欲を抑える効果もあるため、体重が増えにくい特徴もあります。さらに、膵臓の機能も回復させる可能性があり、今後の糖尿病治療において期待されている薬です。しかし、糖尿病治療には個々の症状に合った薬の選択がとても重要となるため、詳しくは医師・薬剤師にご相談ください。

さらに、膵臓の機能も回復させる可能性があり、今後の糖尿病治療において期待されている薬です。しかし、糖尿病治療には個々の症状に合った薬の選択がとても重要となるため、詳しくは医師・薬剤師にご相談ください。

看護部ニュース

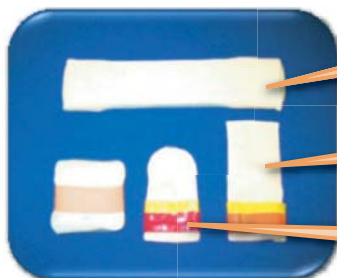
順天堂医院には 18 名の障害者の方が病院内の各職場で一緒に仕事をしています。

看護部にも様々な障害を持つ 8 名の方と協働しています。具体的な業務内容としては病棟での物品整理、氷枕作成、車椅子やストレッチャーの搬送、内視鏡の洗浄、パソコン入力、小児病棟で使用する物品作成などです。ここに掲載した写真は実際に作成している物品（お子さんの点滴などを保護するもの）です。とても心がこもった温かさがあります。これからも協働できる環境づくりを目指したいと考えています。

ストレッチャーを
はこびます。



このような物を
作っています。



シーネ：点滴の刺入部を
固定します。

カバー：点滴の刺入部を
保護します。

ミトン：指先を
保護します。



このように
使用します。

『このような医療機関と連携しています』

医療の高度化・専門化がすすみ、ひとつの医療機関では医療が完結せず、さまざまな医療機関が患者さんの医療を支える時代となっています。当院でも他の医療機関と連携しています。

医療機関は国の方針によって、その機能別に幾つかの種類に分けられています。今回、どのような医療機関があるのか、主だった機能の病床をご紹介します。

《ご自宅にて医療を受ける場合》

- **地域での開業医（かかりつけ医）**：通院して医療を受ける。
- **在宅支援診療所**：通院が困難な場合に、医師に自宅に訪問してもらって医療を受ける。

《入院して医療を受ける場合》

- **一般病床**：急性期病院とも呼ばれる、急性期の病状に対しての治療を目的とする病床。当院は、このなかでも特定機能病院といって、高度な医療を提供する役割を与えられています。
- **回復期リハビリテーション病床**：
発症後2ヶ月以内の脳血管疾患または大腿骨骨折等の患者さんに対して、日常生活動作の回復と自宅への退院を目指して、集中的にリハビリテーションを提供する病床。
- **療養病床**：急性期の治療を終えた患者さんが、介護療養を目的として、長期に入院することができる病床。必要な医療の度合いによって、医療保険を使用して入院する病床と介護保険を使用して入院する病床とに分かれています。
- **障害者病床**：意識障害や脊髄損傷などの重度の障害がある患者さんや神経難病などの患者さんの療養を目的とした病床。
- **緩和ケア病床**：がんそのものに対する治療が難しくなった患者さんに対して、がんから起こる痛みや苦しさ、精神的な不安の緩和を目的とした医療を目的とする病床。



